



ポストコロナ時代の 新しい生活様式でいきいきと

～かわるもの、かわらないもの～

場所／倉吉交流プラザ視聴覚ホール（倉吉市駄経寺町187-1）

【ねらい】

2019年12月に端を発した新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。しかし、この影響は負のものだけではなく、様々なことを考える機会を提供してくれた側面もあります。私たちは、ここから学び、かえる必要があるものはかえ、かわらないものは大切に守ることが重要ではないでしょうか。令和4年度も感染症から完全に逃れられるわけではありませんが、本講座を通して新しい生活様式を取り入れることを考えてみませんか。

第1回（開講式）

変わりゆく
私たちの暮らし

6月24日（金）

13:30～15:00

鳥取短期大学 国際文化交流学科
准教授 板倉 一枝

第3回

開催日変更

気をつけよう、ネット
上の情報収集と発信

~~7月22日（金）~~ 8月25日（木）

13:30～15:00

鳥取短期大学 生活学科 情報・経営専攻
教授 道前 緑

第2回

地域で育てる・
これからの地域交流と
子育て環境について

7月8日（金） 13:30～15:00

鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻
准教授 石田 有作

第4回

いま改めて自分の
健康を考えよう

8月19日（金）

13:30～15:00

鳥取看護大学 看護学部 看護学科
教授 内海 知子

第5回（閉講式）

次世代の子どもたちに
歌い継ぐうた

9月2日（金）

13:30～15:00

鳥取短期大学 幼児教育保育学科
教授 羽根田 真弓

鳥取県民カレッジ
連携講座です

受講料無料

全5回

●対象者 どなたでも参加できます
（事前申込が必要です）

●開催期間 令和4年6月24日（金）～9月2日（金）

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・変更になる場合があります。最新情報については鳥取看護大学または鳥取短期大学のホームページよりご確認ください。



鳥取短期大学
生活学科 住居・デザイン専攻
笹尾咲来さんが、白壁土蔵群の
風景を描いてくれました。



申し込みは
こちらから



公開講座講演の概要

1回

テーマ 変わりゆく 私たちの暮らし

講師 いた板 くら倉 かず一 え枝

コロナ禍で突如として出現した「新しい生活様式（ニューノーマル）」という言葉。私たちの暮らしはこれから一体どうなってしまうのかと不安に駆られた方も多くことでしょう。

しかし過去を顧みると、私たちの生活は時代や社会情勢とともに、常に変化し続けていることに気がつきます。

受講生の皆さんと一緒に日本の戦後の暮らしの変化を懐かしみながらふりかえるとともに、暮らしにおける「本当の豊かさ」とは何かを考え、今後の生活を「明るい未来」にしていくためのヒントを探っていきます。

2回

テーマ 地域で育てる・ これからの地域交流と 子育て環境について

講師 いし石 だ田 ゆう有 さく作

少子高齢化が進み、人口減少が懸念される中で、次世代を担う子ども達に地域の魅力を知ってもらい、地元を支えていく人材へと成長してもらいたいと考える人は多いと思います。

本講座では保育園・こども園を拠点に行われている幼児教育に地域の力を取り入れる試みを紹介し、人と人のつながりを重視するまちづくりについて考えてみます。



3回

テーマ 気をつけよう、 ネット上の 情報収集と発信

講師 どう道 まえ前 みどり緑

インターネットを介して友達との気楽なおしゃべりを楽しんだり、自分の意見を世間にアピールしたりする際、勢い余って、時に他人の名誉を傷つけたりすることもあります。場合によっては、法的な責任を追求されることもあります。

ネット上にあふれる情報の中から正しい情報を選ぶための注意点、また、自分が発信する際の注意点を知り、収集・発信の際に役立てましょう。

4回

テーマ いま改めて自分の 健康を考えよう

講師 うつ内 み海 とも知 こ子

新型コロナウイルス感染症は世界中で多くの人を死亡させるだけでなく、身近な生活の中では感染予防行動を強いられ、通院、病院や施設での面会制限、医療従事者に対する不当な嫌がらせもありました。また、酸素療法、酸素飽和度など普段の生活では耳にすることがなかった言葉がニュースで流れたりするなど、自分の身体の変化に気を配る日々を過ごされたと思います。

この機会に、道具も使いながら自分の身体についての知識を増やしてみませんか。

5回

テーマ 次世代の子どもたちに 歌い継ぐうた

講師 はねだ羽根田 ま真 ゆみ弓

唱歌、童謡は、子どものために作られたうたであり、世界に誇る文化財です。みなさんは、どのような唱歌、童謡と出逢われましたか。唱歌、童謡とともに数々の大切な思い出があることでしょうか。

唱歌、童謡の誕生から140年が経過した今日、これらのうたはどのように歌い継がれているのでしょうか。さらには次世代の子どもたちにどのように歌い継がれていくのでしょうか。

これらのうたが誕生した歴史的変遷を概観しながら、唱歌・童謡が私たちに問いかけるものについて一緒に考えてみたいと思います。